

2024年2月19日

カトリック仙台司教区
信徒の皆さま
修道者の皆さま
司祭の皆さま

Sec. Prot. 2024/06

仙台司教区本部事務局
事務局長
イグナシオ・マルティネス

「性虐待被害者のための祈りと償いの日」のお知らせ

✠ 主の平和

今年の四旬節の歩みが始まりました。ゆるしと和解の季節にもなっています、私たちの祈りと愛徳の業とその連帯を通して回心の恵みを心から求めていきます。この時こそ少しでも一番弱い立場に置かれている人々のために励ましと癒しが与えられますように心一つにしてお祈りもささげていきたいと思えます。

四旬節の第二金曜日は日本カトリック教会が「性虐待被害者のための祈りと償いの日」と定められました。祈りと償い、被害者とその家族のために祈りをささげます。2024年の今年、3月1日（金）がその日にあたります。

小教区ごとに、次の事柄について話し合い、被害者の痛み・苦しみに寄り添い、祈りと償いのうちに過しましょう。

- ・被害者の心身の及ぼす様々な影響（トラウマなど）について司祭と信徒がともに学び、分かち合える場を設けること。
- ・教会活動の中で力関係・支配関係に目を向け、弱い立場に追いやられている人の痛み状況を理解すること。

カトリック司教協議会が2017年に認可した当日この意向で捧げられるミサのための公式祈願と聖書箇所の手紙もお送りいたします、使用することができます。

2024年「性虐待被害者のための祈りと償いの日」にあたっての司教協議会会長からの呼びかけが発表されましたので、お送りいたします。必要に応じて印刷をして共同体に共有していただければと思います

なお、この呼びかけは中央協議会ウェブサイトにも掲載されています。

祈りのうちに

以上

記

- 「性虐待被害者のための祈りと償いの日」のミサの公式祈願と聖書箇所 1部
- 2024年「性虐待被害者のための祈りと償いの日」司教協議会会長の呼びかけ 1部
- 「性虐待被害者のための祈りと償いの日」にあたっての司教団メッセージ
(ピンク色のリフレット) 1部

追伸：

ミサをささげる時のために共同祈願の以下例文も送りいたします。参考にさせていただければ幸いです。

共同祈願例文

司祭：へりくだったところをもってともにわたしたちの祈りをいつくしみ深い御父にささげましょう

1. いつくしみの主である神よ、教会に集う私たちが、被害に遭われた方々の痛みに寄り添い、ともに癒しの道を歩めるよう導いてください。
2. 加害者が謙虚にその過ちを認め、被害に遭われた方とその家族に誠実に謝罪することができますよう光と力をお与えください。
3. 仕えるために来られたキリストに従い、人々への奉仕の道を歩むことを選んだ聖職者たちが、その使命を全うすることができるよう導いてください。
4. 神の民であるわたしたちが良心に目覚め、弱い立場におかれている子どもや大人を守り、連帯し、キリストの福音を告げる使命を全うすることができますよう強めてください。

司祭：すべてを治め、道いてくださる父よ、あなたの民の過ちをおゆるしくください、回心の道を誠実に歩むことができますよう勇気をお与えください。私たちの主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン